

# 家庭科におけるプログラミング教育への取り組み ～プログラミング的思考に関わる学習活動～

児童が将来どのような職業に就くとしても、時代を超えて普遍的に求められる力としての「プログラミング的思考」を育む必要があります。そのためには、各教科等においても、「論理的思考力」の育成に留意することが求められています。

この思考を身に付けるためには、課題を見つけてその目的を明確にし、活動を選択・決定し、活動後に評価・改善して、新たな課題につなぐ体験が有用です。

『新しい家庭』では、以下の紙面構成で、「プログラミング的思考」につながる「論理的思考力」の育成に対応しています。

## ★全大題材をステップ1・2・3で展開★

すべての大題材をステップ1・2・3（課題発見→課題解決・実践活動→評価・改善）の流れで構成し、繰り返し、論理的思考につながる物の捉え方や考え方ができるように構成しています。

### 学習の進め方

これから、ステップ①→②→③の流れで学習を進めていきます。どのステップでも周りの人と交流することで考えが深まります。生活を見つめ、発見した課題を自分らしく解決していきましょう。

**課題発見**

ステップ 1  
見つめよう

- 課題を見つけよう
- 学習の見通しを持とう



**課題解決・実践活動**

ステップ 2  
計画しよう・実践しよう

- 考えよう、できるようにしよう
- 課題を解決しよう



**評価・改善**

ステップ 3  
生活に生かそう・新しい課題を見つけよう

- 活動をふり返り、改善しよう
- 新しい課題を見つけよう



**生活を変えるチャンス!**

生活をよりよくしよう(生活の課題と実践)

- 家庭や地域などで実践しよう
- よりよい生活を目指そう

習った手ぬいを使って、お父さんにティッシュケースを作ってあげたいな。

早速実践だ。

実践したことをレポートにまとめたので、発表します。